

平成30年度磯焼け対策全国協議会 議事次第

日時：平成31年2月22日（金）10:00～17:00

会場：三田共用会議所 1階 講堂

1. 挨拶（水産庁漁港漁場整備部長 岡 貞行） 10:00～10:05

2. 議事
- (1) 各地域からの報告 10:05～11:50
 - 佐賀県玄海地区の藻場の現状と対策
佐賀県農林水産部水産課 山田 秀樹
 - 伊豆のガンガゼ採捕
静岡県水産技術研究所伊豆分場 長谷川 雅俊
 - 鳥羽市答志のアラメ海中林の再生に向けて
三重県鳥羽磯部漁業協同組合答志支所 濱口 輝満
 - 磯焼け対策構成員のモチベーションを上げる工夫と教育について
富山県立滑川高等学校 澤田 和之
 - キャベツでムラサキウニを育てる！
神奈川県水産技術センター 臼井 一茂
 - 植食性魚類の商品化の試み
長崎県（一社）マリン・アクティヴ 西崎 茂一
 - 質疑
 - ～ 休憩 ～ 11:50～13:20
- (2) 磯焼け対策ガイドラインの改訂に向けた取組について 13:20～15:00
 - 磯焼け対策の現状と今後の課題
国立大学法人東京海洋大学大学院 海洋生物資源学部門 藤田 大介
 - 磯焼け対策ガイドラインの改訂に向けて
水産庁漁港漁場整備部整備課 不動 雅之
 - 広域藻場のモニタリング技術と課題について
神奈川県水産技術センター相模湾試験場 前川 千尋
 - 植食動物の捕食者を利用した藻場回復の可能性と課題について
国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産工学研究所 川俣 茂
 - フェーズシフトが起きる要因と起因条件について（大分県名護屋湾の事例を通じて）
国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産工学研究所 桑原 久実
 - 意見交換
 - ～ 休憩 ～ 15:00～15:15
- (3) パネルディスカッション「海水温の上昇と磯焼け対策」 15:15～16:55
 - 1) パネラーによる話題提供 15:15～16:15
 - 長崎県壱岐におけるアラメ・カジメ類の衰退
国立研究開発法人水産研究・教育機構 西海区水産研究所 清本 節夫
 - 気候変動下での土佐湾の藻場の変化と藻場造成
国立大学法人高知大学 農林海洋科学部 中村 洋平
 - 瀬戸内海～外海の環境変動域にみる気候変動の藻場への影響と将来像
国立研究開発法人水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所 吉田 吾郎

2) パネルディスカッション (討論、質疑) 16:15-16:55

コーディネーター 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産工学研究所 桑原 久実

3. 閉会挨拶 (水産庁漁港漁場整備部整備課長 山本 竜太郎) 16:55

(注) 発表題目等は変更となる場合があります。

(参考)

2月23日(土)13:00~18:00に東京大学大講堂(安田講堂)にて、磯焼け対策を含む藻場の保全活動など水産業・漁村の持つ多面的機能の発揮に資する地域の活動事例報告を行う、平成30年度 シンポジウム「里海保全の最前線」(主催:全国漁業協同組合連合会、全国内水面漁業協同組合連合会)が開催されます。